NIE実践報告

1．タイトル：みんな幸せになあれ

2．学校名

さいたま市立大谷場小学校

3．実践者名（代表者名）

鏑　木　　隆

4．学年

第４学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習　９３名

6．単元（本時の学習課題）名

「みんな幸せになあれ」（福祉）

7．目標（狙い）

興味関心や共通体験などから自分が追求したい課題を見つけ、進んで情報を集め、レイアウトを工夫してテーマ新聞をつくる。

8．評価の視点

いろいろな調べ方から自分にあった方法を選び、収集した資料を活用し、工夫して分かりやすいテーマ新聞をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「見やすくまとめよう」（教科書教材：光村）〔国語：６時間〕
「みんな幸せになあれ」〔総合的な学習：７時間〕

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①これまで学習してきたことを元に、福祉の意味を考える。
②困っている人に役立っているものがないか考え、できること、やりたいことを「かがやきマップ」（ワークシート）に書き込む。
③調べ、体験、聞き取り等の活動を通し、自分の課題を追求する。
④朝日新聞社さいたま総局長、佐藤泰さんを招いて、新聞づくりのポイントについて話していただく。
⑤新聞の形でまとめ、発表会を行う。

（留意点）
・取材については、本やパンフレット、様々なメディアを活用するとともに、インタビューによる取材について支援する。
・新聞社の方から実際に話を聞くことにより、新聞記事をより身近なものとしてとらえられるようにする。
・新聞やパンフレットを表現モデルとして参考にさせ、見出しやレタリングにも工夫させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞社の方の話は、「頭」、「肩」、「腹」という構成の話や新聞社によってどの記事を優先にするかが違うということなど、児童にとって驚きの連続であった。国語で学習した「アップとルーズ」を活用するなど、どの児童も、新聞の完成まで集中して取り組んだ。

12．成果と課題

新聞形式でまとめると、言葉をしぼり大事なことをまとめるという力がつくように感じる。また、限られたスペースでの資料の扱いについても、より適したものを見つけようと努めていた。